

第15回埼玉県障害者アート企画展

Coming Art 2024

来たるべき、
次のアート。

カミングアート2024



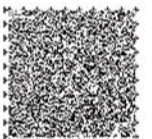
今年で15回目を迎える埼玉県障害者アート企画展。

埼玉県が実施する「障害のある方の表現活動状況調査」には毎年、「これってアート?」と思われる表現から、社会的に注目を集める作家の新作まで実に多彩な作品が集まります。

この調査票をもとに、50以上の福祉施設や行政の職員、美術の専門家などのネットワーク（埼玉県障害者アートネットワークTAMAP±O）が中心となり、それぞれの視点で話し合いながら出展作品を選考しています。

本展では、交ざりあう価値観の中から選び抜かれた128名の作家による600点を超える作品をお届けします。

2024年12月4日 水 — 8日 日 | 10時~17時 | 会期中無休
(最終入場は16時30分)
埼玉県立近代美術館 | 一般展示室1・2 [地下1階] | 入場無料



主催:埼玉県障害者アートネットワーク TAMAP±O、社会福祉法人みぬま福祉会 共催:埼玉県、埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会
後援:上尾市、春日部市、川口市、川越市、行田市、久喜市、熊谷市、さいたま市、狭山市、白岡市、杉戸町、秩父市、鶴ヶ島市、所沢市、戸田市、新座市、蓮田市、飯能市、東松山市、日高市、深谷市、本庄市、三郷市、毛呂山町、吉川市、吉見町、嵐山町、公益財団法人さいたま市文化振興事業団
協力:アートセンター集協力委員 助成:令和6年度埼玉県障害者芸術文化活動普及支援事業(埼玉県補助事業) 監修:中津川 浩章

みんなで つくる展覧会!

埼玉県障害者アートネットワーク TAMAP士O(通称タマップ)には、50ヶ所に及ぶ福祉施設が参画し、障害のある人たちの表現の魅力や支援のあり方を、月1回の会議や研修を通して学び合っています。対話を重ねながら様々な視点を取り入れることを大切に、みんなで展覧会をつくり上げています。

イベント

Event

1 アーティストトーク

日時:2024年12月7日(土)
10:30~14:00~(予定)

出展作家や支援者が作品について想いを語り、トーク予定の出展作家についてはSNS等でお知らせします。

Event

2 作品鑑賞プロジェクト

「わたしたちの目」

中学生による作品鑑賞の感想文を、パネル掲示します。
企画協力:埼玉県内中学校

Event

3 ことばでみる鑑賞ツアー

(埼玉県立近代美術館との連携プログラム)

日時:2024年12月6日(金)13:00~15:30
会場:埼玉県立近代美術館
地下一般展示室1・2、2階講堂

募集:見えない人・見えにくい人
5名(応募多数の場合抽選)

応募:11月5日(火)までにアートセンター集
へお電話ください

視覚に障害のある人となない人がグループになり、会話しながら(一部、触って)展示作品を鑑賞。作品鑑賞後は、埼玉県立近代美術館との連携プログラムとして、美術館が所蔵するユニークなデザインの椅子に座って、おしゃべりを楽しむ時間も設けます。

企画協力: con*tio

Coming Art 2024

第15回埼玉県障害者アート企画展 カミングアート2024



15回目になる埼玉県障害者アート企画展。当初、障害がある人たちの魅力的な表現を福祉的視点も含めた「調査票」をもとに審査するという形式で始まった。最近は調査票もさることながら、福祉施設で働くスタッフのリアルな現場感覚をより反映させるような形に変化してきた。審査会はアート、デザイン、教育、福祉、法律、行政といった多様な専門性を持つ方々が、丁寧に対話を重ねながら進めてきた。かつてはアートの専門家の意見を福祉関係者が拝聴するような傾向があったが、いまは逆に福祉現場スタッフから作品の背景が語られるとアート関係者がそれを聞いて唸り、感心し、質問してくる場面も増えた。「福祉とアート」が交錯し価値を生みだすスリリングな瞬間、まさに最近よく目にする「福祉×アート」という言葉の実践を具体的に押し進めてきた結果だ。

非言語のコミュニケーションの中から生まれてくる「表現」の数々。「読めそうで読めない象形文字のような線」、「紙をはみ出して部屋の壁にまでドローイングする人たち」、これは芸術なのか、たんなる表出なのか、あるいは無意味な行為の反復なのか。すべての作品には「生きる」というメッセージが刻印されている。なにが私たちの人生を社会をそして福祉現場を豊かにしていくのか。問いかけてくる展覧会です。

本展監修…中津川浩章

会場

入場無料

埼玉県立近代美術館 一般展示室1・2 [地下1階]

埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1
Tel:048-824-0111

※JR京浜東北線北浦和駅西口より徒歩3分
(北浦和公園内)

※美術館には専用駐車場はありませんが、お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたします。ただし台数に限りがありますので事前に美術館にご連絡をお願いいたします。



出展作家

相田大希、青木眞弓、浅野勉、apipo、阿部香織、阿部佐知子、雨星むう、新井貴道、新井美沙、荒井玲良、石井章、石井健知、伊藤裕、岩崎昭、うすきよしえ、内田拓磨、及川礼、EMI、大串憲嗣、大熊俊介、大津剛、大畑桂子、大森郁夫、尾ヶ井保秋、岡田亜弓、岡田雅人、尾崎翔悟、小幡海知生、恩田貴弘、金子慎也、金森啓太、神谷羽菜、木村貴志、清貴、甲村哲之進、小林一緒、コバヤシカオル、小牧美穂、斉藤梅子、斉藤淳太、斎藤健視、佐々木直哉、佐藤謙生、椎橋豊、柴崎優翔、シュウシュウ、白井浩太郎、白山七恵、杉田大河、鈴木愛梨、鈴木亜由美、須藤勇二、関翔平、関口エイ子、関口直子、高野一彦、高野博史、高橋裕子、武石トシ子、竹内君恵、田中啓示、谷口京輔、塚田裕磨、D.J.E.J.、Techan man、富田聖治、内藤みひ、なお丸、永井健雄、中崎強、中村愛之助、中村美代子、成澤瑞穂、成宮咲来、西川泰弘、新田新汰、鶴、納田裕加、野村真優子、野村美知子、野本竜士、白田直紀、ハジメ、橋本康紀、hasumi、長谷川栄子、長谷部航輝、花小鳥凧、濱林主基、ばみん、林良樹、ピクター・タン、平川寛隆、福島尚、古川舜一、古澤美紀、堀麻美、前田貴、真嶋翔生、益子里菜、松崎悠希、松下煌樹、松島幸江、三宅史洋、宮田愛、宮部龍成、三好進、茂木かおり、森理菜子、森川里緒奈、森川友博、yasu、安田拓海、筋内裕樹、山岸太誠、山崎恵一、山崎利之、山田武、山中正則、ユキウサギ、横井雅美、横山明子、横山涼、吉野亜紀、吉野孝紀、ヨッシー、リノシ・セナラ、渡辺孝雄

お問い合わせ

アートセンター集

(社会福祉法人みめま福祉会 工房集内)

Tel:048-290-7355

Fax:048-290-7356

E-mail:artcenter@kobo-syu.com

URL:https://artcenter-syu.com



後日展覧会の様子を配信



随時展覧会の様子や作家を紹介

